

羅針盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。		(13) 1日平均遅刻者数が、5人以下である。
		(14) 制服の着こなしや言葉遣い、あいさつがきちんとしている生徒が90%以上である。
		(15) 問題行動で指導を受ける生徒が、5人以下である。
		(16) 中途退学者が、在籍生徒数の0.5%以下である。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	(17) 学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。
		(18) 進路関係の行事が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。
		(19) 生徒の将来の志望について理解している保護者が、80%以上である。
		(20) 学校の進路指導について理解している保護者が、80%以上である。
8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		(19) 生徒の将来の志望について理解している保護者が、80%以上である。
		(20) 学校の進路指導について理解している保護者が、80%以上である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信していますか。	(21) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、80%以上である。
		(22) 学校の様子がよく分かれると答えている保護者が80%以上である。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導をおこなっていますか。	(23) ICTを活用した指導に、生徒の80%以上が満足している。
		(24) ICTを活用したアンケートに生徒、保護者の80%以上が満足している。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(24) ICTを活用したアンケートに生徒、保護者の80%以上が満足している。

方	策
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故に巻き込まれないため、ゆとりをもって登校するよう、生徒に呼びかける。またPTA総会や学年保護者会で家庭の協力も呼びかける。 ・遅刻した生徒については、保護者に連絡をして、家を早く出るように、家庭の協力も仰ぐ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から生徒に、実社会に出たときの身だしなみや言葉遣い、あいさつの重要性を訴える。 ・週1回の登校時指導、普段の授業、全体集会などで、服装やあいさつの指導をしっかりと行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から生徒に、学年、担任、生徒指導部を中心に、規律ある学校生活が送れるように訴える。また普段から個々の生徒の様子をしっかりと観察する。 ・情報モラル教室、薬物乱用防止教室、非行防止教室を年1回以上実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検査の結果などの有効活用を図る。 ・学年団と連携し、月別欠席調査を実施する。 ・教育相談係やSCによる早期教育相談を実施する。 ・長期欠席者に対し週1回以上の家庭連絡を行う。 ・家庭と連絡を密にし、情報の共有を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路の手引き」により進路に関する基本的な内容を理解できるようにするとともに、その充実を図る。「進路たより」を複数回発行し、最新情報の提供や進路学習の取り組みの状況など、適時的な進路情報の発信を行う。 ・教育実習生による大学説明会を行う。 ・進学先による校内進路ガイダンスを行う。 ・人事担当者による企業説明会を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬に三者面談を実施する。 ・適時、進路についての二者面談を行う。 ・進路指導部担当職員が進学希望生徒に対し個別面談を実施し、進学先について適切なアドバイスを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のWebページに、前年度の進路概況や今年度の情報等を掲載する。 ・スマートフォン等で今年度来た求人票を閲覧できるようなシステムを構築する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの一斉メールを活用して、緊急情報や生徒・保護者への連絡等を配信する。 ・詳細な情報や連絡については、Webページに掲載し周知徹底を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の日程にあわせて、授業公開を行う。 ・9月の学校説明会では、中学3年生、その保護者、中学校教諭だけでなく、本校保護者にも参加を呼びかける。 ・学校評議員会を年2回開催し、その中で保護者の代表者に対して、学校概要説明を行う。 ・学校のWebページ上で、学校評価を含め様々な情報を発信する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した授業を展開し、協同学習の充実をはかる。 ・進路指導において一人一台端末を活用し、データの共有ならびに生徒・保護者との連絡、情報共有の充実をはかる。 ・職員の100%が一人一台端末の利用方法をマスターし、授業やクラスの担当者間で温度差が生まれないようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打ち合わせにグループウェアを利用し、スムーズかつ連絡漏れの防止に努める。 ・資料や配布物のデータ化に努め、ペーパーレス化の運用体制をつくる。 ・担当分掌、学級以外にも業務の進捗状況の共有を図る。 ・セキュリティ対策を充実させる。

第1回点検・評価			第2回点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
A	/	・登校開始以来、登校時の遅刻者はほぼゼロであった。登校時に正門における指導を継続する。	A	/	・担任、学年、生徒指導部を中心に、規律ある学校生活を送れるような環境を日頃から整える。また普段の個々の生徒の様子を観察する。
A	A	・「いつでも面接試験を受けられる服装・態度での生活」をモットーに、普段の授業や登校時指導等に限らず、あらゆる場面や場所においてしっかり挨拶等ができるよう指導を継続する。	A	A	・「今すぐ面接試験に行ける服装態度」を常に心がけさせるとともに、校訓「至誠一貫」の実践を一人ひとりが考え、具現化できるよう、生徒の育成を図る。
A	/	・登校時指導や下校時指導、昼休み巡回指導等を実施し、多角的に生徒観察を行う。また、講話などで規範意識向上に努め、問題行動が起きないような環境作りをする。	A	/	・担任、学年、生徒指導部を中心に、規律ある学校生活を送れるような環境を整える。また、自ら考え行動できる生徒を育成するための意識付けを継続する。
A	/	・スクールカウンセラーや養護教諭との連携・協働により、生徒の悩みを解決するために役立てる。 ・職員間の情報交換等も行われており、共通理解のもと生徒指導に取り組む。	A	/	・職員連携のもと、個に応じたきめ細かな教育相談体制の一層の充実を図る。また家庭との連携を強力に推進する。
A	A	・「進路の手引き」の充実を図るとともに、最新情報は各クラスに掲示した。2学期は進学関係を中心に1、2年生向けの「進路たより」を適宜発行する。	A	A	・国公立大学入試に関する詳細な情報を盛り込み「進路の手引き」の充実にも努め、進路たよりにより最新情報の掲載を行う。また、本校の進路指導の流れがよくわかるように工夫する。
A	A	・教育実習生による大学説明会や校内進路ガイダンスは、新型コロナ感染防止対策のため放送にて実施した。大学案内や求人票などをWebページで確認できるようにするなどの工夫をし、生徒への便宜を図っている。	A	A	・進路ガイダンスの充実を図り、分かりやすい内容とする。進路行事として生徒や保護者のためになることは引き続き実施し、必要と思われる進路行事は適宜取り入れる。
A	A	・三者面談や二者面談を実施し、進路決定や進路の方向性を確認することができた。 ・進路指導部担当職員が、担任と協力しながら就職先、進学先のアドバイスを行っている。	A	A	・三者面談や二者面談を引き続き行い、生徒の進路選択がスムーズに行えるようにする。 ・個々に応じた進路指導は重要であり、個別面談や個別相談を実施する。
A	A	・新型コロナ感染防止のため、進路説明をする保護者会を3回に分けて実施した。今後はWebページ等で説明する機会を増やしていきたい。	A	B	・各学年の保護者会において進路概況の説明に十分な時間をとり、より分かりやすく充実した進路ガイダンスとする。
A	A	・一斉メール配信を行い、生徒・保護者への連絡を徹底した。 ・Webページにも一斉メールの内容やより詳細な内容を掲載し、周知に努めた。	A	A	・今年度は一斉メールが頻繁に配信されたため、生徒・保護者にもその方式が定着し、連絡事項等徹底された。
A	B	・新型コロナウイルス感染防止対策のため、PTA総会や授業公開、保護者会が実施できなかった。 ・第1回学校評議員会を開催し、保護者代表との意見交換を行った。 ・一斉メールを活用して、緊急情報や行事案内などの連絡等を配信した。 ・Webページで、様々な情報を発信し常に最新の情報を提供できるようにしている。	A	B	・新型コロナウイルスが終息したら、PTA総会や保護者会を実施し、学校と保護者が良好で密接な関係を築けるようにする。 ・ホームページで、様々な情報を発信することで、保護者や地域住民の学校理解に努めたい。一斉メールを活用して、緊急情報、行事案内、保護者連絡を配信し、保護者との連携を図る。 ・学校説明会や学校見学会を開催し、本校の教育活動を家庭や地域社会に向け広報する。
A	A	・進路先の情報等をクラウドで管理し、連絡もSNSを活用したことで、生徒・保護者と連絡を密にした進路指導の一助とすることができた。 ・通信環境に制限があることから、授業配信や活用頻度についてクラス・分掌・部活動ごとに利用度が異なっている。継続して推進したい。	A	A	・各ホームルーム、学校行事、授業にて、一人一台端末の活用が促進された。アンケートでは生徒の95%以上が「活用している」以上の回答をしている。100%を目指して継続したい。 ・年度中に通信環境が改善されたことで、授業や行事、課程連絡用ツールとしてclassroomの数と利用度があがっていると報告を受けている。継続して推進したい。
A	A	・ICTとSNSを活用した運用を充実させ、会議資料の情報共有とペーパーレス化の推進に努めた。 ・離席中の画面に機密情報が映っていることや、パスワードが見やすい位置にあるなどの意識不足の点が見られた。職員へのセキュリティ教育を引き続き推進する必要がある。	A	A	・資料共有とペーパーレス化をセットに行い、連絡漏れの防止に寄与することができた。セキュリティに留意しつつ継続していきたい。 ・保護者アンケートから、「学校の様子がよくわからない」と3割強の回答が見られた。学校Webサイトを利用した情報提供を各分掌や学年に促しながら改善を図りたい。